



シルバーだより

# もとみや



■発行所/公益社団法人 本宮市シルバー人材センター  
 ■住 所/本宮市本宮字馬場74-1 本宮市福祉会館内 □電 話/0243-34-5226  
 ■E-mail: silver-motomiya@cameo.plala.or.jp □URL: <http://www.silver-motomiya.com/>

春日神社 秋季例大祭

CanonEOS 5 DII EF24-105mm 1:4L IS USM

1/125sec F11 ISO800 3Nov AM11:20

■発行日/平成31年1月1日

20号

## 年頭のあいさつ

理事長 根本 守



新年明けましておめでとうございます。  
本宮市シルバー人材センターの趣旨をご理解の上で支援を賜っております、お客様をはじめ関係機関団体等並びに会員の皆様方には、お健やかに平成三十一年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、当センターの事業運営にあたり格別なるご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、人生百年時代の中で高齢社会は、シルバー人材センターにとってもさまざまなチャレンジとチャンスの増える社会であり、長い人生を生き生きと過ごすには、年齢に関わらず社会活動や生涯学習等、社会参加をとおして地域社会への貢献と地域の生活支援の場として、シルバー人材センターの果たすべき役割は極めて重要となっております。

本年も会員の皆様方と共に、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと生涯現役社会の実現に向け、自主的な事業への参画と地域社会の「支え手」として活躍をいただくとともにセンター事業の活性化を図るため「会員の増強」と「就業機会の拡大」及び会員の「意識の高揚」と「安全対策」事業に努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様には、心身ともに健康で生きがいのある自立した人生を送られますようご祈念申し上げ、年頭の挨拶いたします。



## 年頭のあいさつ

本宮市長 高松 義行



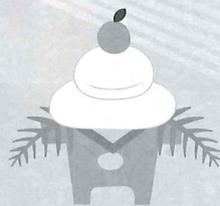
明けましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

現在、本宮市では、「未来に向かって 笑顔あふれる もとみや創生」をスローガンに、笑顔あふれる かけがえのないふるさと「もとみや」を、未来へ受け継いでいくため、復興事業から地方創生へ軸足を移し、様々な事業に取り組んでいると

ころでございます。

このような中で、役員及び会員の皆様におかれましても、地域社会の活性化のために、より一層充実した事業展開がされますことをご期待申し上げます。

結びに、貴センターの益々のご発展と、会員の皆様方にとりまして、今年一年が健康で希望に満ちた年となりますよう心よりご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。



## 年頭のあいさつ

本宮市議会議長 渡辺 由紀雄



あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市議会に対する深いご理解と多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

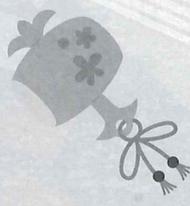
我が国は深刻な少子高齢化が進行しており、次代の担い手である若者や子どもたちが減少しております。そのような状況の中、地域の活力を維持しつつ、発展させていくためには、高齢者の方々が健康で働き続けながら、社会の担い手として、また、若者や子どもたちの良い手本として、活躍できるような環境作りが非常に重要であります。

貴センターは、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、高齢者の就業機会の確保・提供や

生きがいの充実など、「生涯現役社会」の実現を果たす役割を担うとともに、地域の活性化に大きく寄与されておられるだけでなく、本市の施策、ニーズに対応し、様々な形でご協力いただいております。貴センターのこれまでの活動とご支援に対し、心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

市議会といたしましても、高齢者の方々が生き生きと活動でき、社会参加できるような環境づくりを促進するべく、積極的に活動していきたいと考えております。

結びに、今後とも市議会に対する皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、貴センターの益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。





## 会員のための講座

今日の説明

- 1 シルバー人材センター事業の目指すもの
- 2 シルバー事業と社会環境の変化
- 3 一緒に活躍する仲間を増やして  
会員300万人を目指そう
- 4 シルバー事業の基本  
ー安全就業ー
- 5 シルバー事業の基本  
ー適正就業ー
- 6 まとめ

**演 題 「安全・適正就業について」**

**講 師 佐 藤 義 住 様**

**福島県シルバー人材センター連合会  
専務理事兼事務局長**

### 【講師先生の講話から】

開催日時：9月29日(日)

場 所：白沢公民館

#### ◎シルバー人材センター事業の目指すもの

- \* 事業運営の基本  
理 念 → 自主・自立・共働・共助  
自主的な組織参加 → 社会参加で生きがい充実
- \* 事業（目的）発展のための活動  
会員拡大、事業拡大、地域貢献の3つの柱
- \* 事業の基本  
会員の安全就業、適正就業

#### ◎シルバー人材センター事業の会員増の必要性

- \* 地域を支える熟年者の期待が高まっている
- \* 地域で頼りにされる存在感のある団体になる

#### ◎シルバー人材センター事業の会員増の方策

- \* 会員よる「1人1会員入会」運動の取り組み
- \* 友人・知人の勧誘、募集の周知活動

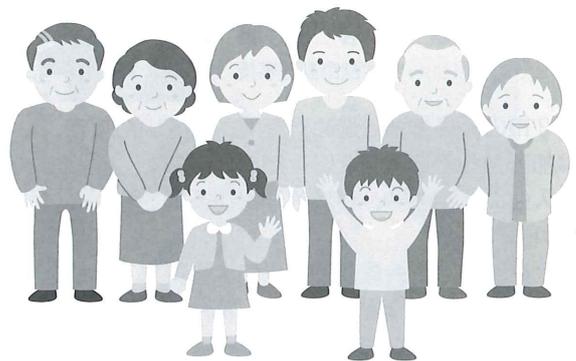
#### ◎安全・安心なシルバー人材センター事業

「事故防止、急ぐな、焦るな、気を抜くな」 全国シルバー事業協会

「安全は 人に頼るな 任せるな」 福島県シルバー連合会

「ハッとすると 危険はとなり 慎重に」 本宮市シルバー人材センター

- \* 加齢による心身機能の低下を知る  
・ 視力、注意力、運動能力、反応の遅れ
- \* 事故は、どうすれば防げるのか  
・ お互いに声かけあう、目と目の合図 安全確認  
・ 安全保護具の着用  
・ 器具の正しい使用方法



## 3市の役員研修会を開催



須賀川市・田村市・本宮市の3市による、第4回目の役員研修会を開催いたしました。

シルバー人材センターの事業は、「自主・自立・共働・共助」を基本理念に基づき運営されております。

各センターの事務事業運営についての情報交換により、効率的な運営の発展と組織強化と事業充実を図るために交流研修を行ないました。

\*開催日 10月24日 水曜日 午前9時30分

\*開催場所 本宮市シルバー人材センター

\*参加者 3市の理事、委員会委員及び職員 34名

\*会議方式 テーマ毎の分科会方式

第1分科会「会員増強について」

司会：本多 勝春 書記：渡邊 敏子

第2分科会「安全適正就業について」

司会：渡邊 利広 書記：渡邊 功

### 会員増強分科会

報告者 本多 勝春  
本宮市副理事長



3市の会員増強の進め方を聞かせていただき、参加者からのご意見をいただきました。

入会する動機は、経済的理由が多いことがあげられました。

会員募集は、会員が口込みにより募集することが、会員の意識高揚にもなり、紹介されて入る方は、途中で辞めない方が多いなど。

シルバー人材センターは、ただ老人の集まりではなく、働く集団であり、働く雰囲気がある場所であることをPRすることが大切であるとの意見がありました。

多くの意見が出され、今後の会員増強活動の参考になりました。

有意な意見交換が行われましたこと、皆さんに感謝申し上げ、会員増強の分科会の報告といたします。

### 安全就業分科会

報告者 渡邊 利広  
本宮市理事・安全就業委員長



安全就業分科会の報告をいたします。

本宮市、須賀川市さん、田村市さんから取組み実情を説明していただきました。

須賀川市さんは、就業ワッペンを作成し、常に付けて作業しているとのこと、安全パトロールを実施し、事故のペナルティー方式を取っており、規約を制定して厳しくしている、会員の安全就業大会を実施しているとのことでした。

田村市は、就業初めにミーティングを行い、服装をチェックし安全就業を第一として、事故防止に進めているとのことでした。

剪定樹木の作業について話題になりました。

須賀川市さんは、3メートル以上は受けない。

田村市さんは、断れない事情の場合は行う。

本宮は、4メートル以上は受けないのが基本、断れない場合は、足場を組み行う。

それぞれの対応をしておりました。

事故の発生は、就業の終了近くに多く起きていること、就業に注意する様に行うのが良いとのことでした。

今後とも、会員の安全就業は、重要課題として取組をしてゆくことを確認いたしました。

委員の皆さんの貴重な意見をいただき、有意義な会議であったことを報告いたします。

# 理事会開催状況

【第一回 理事会】平成三十年四月二十七日

\*議決事項

- ◎会員の入会承認について
- ◎平成二十九年度事業報告、収支決算承認について

◎定時総会の招集決定について

◎役員候補者の決定について

◎空き家等管理サポート事業要綱制定について

\*報告事項

\*協議事項 二件

【第二回 理事会】平成三十年五月三十一日

\*議決事項

◎会員の入会承認について

◎理事長、副理事長、常務理事選任について

【第三回 理事会】平成三十年七月十三日

\*議決事項

◎会員の入会承認について

◎安全適正就業推進大会について

\*報告事項 七件

\*協議事項 二件

【第四回 理事会】平成三十年九月十一日

\*議決事項

◎会員の入会承認について

◎会員百万人達成事業推進委員会設置要領の制定について

\*報告事項 六件

\*協議事項 二件

【第五回 理事会】平成三十年十一月三十一日

\*議決事項

◎会員の入会承認について

◎作業見積基準額の一部改正について

\*報告事項 十二件

\*協議事項 二件

## 役員研修

9月18日、栃木県矢板。市SCに役員研修で伺いました。

多忙な折、白石理事長、石川常務理事兼事務局長の懇切丁寧なご指導をいただきました。

市の母体人口が変わらないのに会員数が多く、契約高が当センターの倍であり、市の補助金は1千万円と運営が円滑で余裕が見受けられた。

市民にシルバー人材センターを理解してもらうことを大切にしていると実施する等、会運営での見習うことの多い研修でした。



## 企画研修委員会



11月3日、福島市SCまつりに企画研修委員会で伺いました。

会員の手づくり製品、再生自転車抽選販売、障子・網戸張実演、毛筆体験、包丁砥ぎ実演、女性会員の手工芸品と赤飯玉こんにゃくの販売、会員募集と相談コーナーが開催されました。

多くの市民の方が会場にお出でになっていました。

今後の活動の参考になりました。

## 会員百万人達成 事業推進委員会

会の事業運営の健全化を図るための就業開拓と会員増強活動を促進する委員会を設置いたしました。

事業活性化計画の第二期が三〇年度で終了し、新たに第四期計画を進めることとなります。

現行計画の見直しと新たな計画の策定つくりになりました。

本宮は、会員の入会率が低く、就業では、お客様からの注文に人員不足の業種は即応できないこともあり、会員を増やして受注に対応する組織づくりが先決となっております。

市民の方に、シルバー人材センターは、丁寧に正確に働く集団であること等を理解していただくための計画を作ります。

# みんなの広場

## 私が働こうと思った理由



岩淵 美代子

会員の皆様お変わりありませんか。私は、三人の子供に恵まれ、共稼ぎで育て上げ、定年後は今までの分を取り戻すかのようにいろいろ趣味を楽しく過ごしてきました。

しかし、その一方で何か満たされない、張り合いのないものがありました。

働くことがプラスと考え自分に負荷をかけ、また働いて見ようと思ったのです。事務一筋にきた私に、周りは心配しましたが仕事の内容はこだわりませんでした。現在は、「えぽか」で清掃の仕事をしています。

最初の頃は、経験したことなく辛く感じました、続けられるか不安でしたが今では、体力も付き、これまでの人生の中で、一番身体が動く状態になりました。仲間もたくさん出来明るく、生きいきとし、薬も飲んでないと言っている人が多かったです。働くことは、苦勞ではなく、心身共に自分のためと私は考えます。

シルバーは、さすがだねと言われるような丁寧さと真面目さをモットーに、健康への意識をもち、生涯学習に力を入れ、ゆったりと楽しく行きたいと思えます。

## 朝のルーチンワーク



渡辺 哲朗

去年の夏休み、自治会の回覧板で『子供たちと一緒にラジオ体操をやりよう』との誘いがあった。

どんな人が出てくるのか分からずチョットためらいもあったが団地の広場に出かけた。小学生十数人と役員と見知った大人が七・八人集まった。

朝の体操は、工場勤務だった在職中、毎日始業時に皆で輪になってやっていた事だったので、久しぶりに朝の涼しい空気の中心持ちよくできた。

毎日体操が終わると『ラジオ体操出席カード』に、育成会のママが丸いシールを貼ってくれた。子供たちとの体操は七月末まで続き、最終日には全員にお茶とお菓子のご褒美が配られた。

夏休みに始まった『朝のラジオ体操』は、その後私の大切なルーチンワークになった。

二〇一八年は『ラジオ体操九〇年』の年に当たるらしい。

### 「みんなの広場」の原稿募集

この頁は会員の皆さんが、投稿により日頃思うこと、旅行紀行、俳句、川柳等、自由にお使ってください。

## 会員募集に協力を

一会員一人募集運動に参加をお願いします。

年金だけでは、生活がちょっと心配、そんな友達をシルバー人材センターに誘ってください。

### 《入会説明会》

日時：三月一日 金曜日

十時に説明会を行います。

場所：本宮市福祉会館

(シルバー人材センター)

## 新会員加入者名

三十年九月から三十年十一月

齋藤 甲子	本宮第一班
庄司 徳廣	本宮第一班
手代木 陽子	本宮第二班
田中 一義	本宮第四班
南雲 妙子	本宮第四班
佐藤 一男	白沢第二班
平田 修二	白沢第三班
渡辺 昌之	白沢第四班

## シルバー人材センターへの支援の要請

九月三日、本宮市長高松義行様、本宮市議会議長渡辺由紀雄様に「シルバー人材センター」への支援の要請を行いました。

要請の内容は、二十九年三月の閣議決定された「働き方改革実行計画」に基づき、シルバー事業の果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなり、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献しております。三十一年度の事業推進のため、補助金、委託費と公共事業の発注の確保と当センターの事業推進と今後の課題も含めて執行機関、議決機関にお願いします。



# 会員互助会だより

## 会員親睦会

爽やかな秋晴れの中、十一月五日～六日、二十  
六名参加で会員互助会主催の親睦会を開催いたし  
ました。

一路、栃木益子焼窯元へ、外池酒造の工場見学と試飲、出雲大社常盤分  
社参拝、大洗シーサイドホテル宿泊・  
懇親を深める宴会を行いました。

次の日は、めんたいパーク大洗、那  
珂湊おさかな市場で買い物、日立市吉  
田正音楽記念館を見学しました。

天候に恵まれ、太平洋の素晴らしい  
眺め、ゆつくりとした素敵な時間を満  
喫、美しい紅葉の中、会員の親睦が深  
まった常盤路の旅でした。

- ① 益子焼の大狸
- ② 益子焼大陶器市
- ③ めんたいパーク大洗
- ④ 吉田正音楽記念館



## 奉仕活動

十月は、地域参加型ボランティア活動・  
地域環境の美化活動運動を全国シルバーが  
一斉に「シルバー人材センター普及啓発促  
進月間」として展開いたしました。

本会も九月二十九日、  
この事業に参加し、会  
員五十七名が本宮地区  
は、本宮市福祉会館周  
辺で、白沢地区は、白  
沢公民館でゴミ拾い、  
草むしりの奉仕活動を  
行いました。  
小雨の中、大変で苦  
労様でした。



## 訃報

志賀隆次さん

(本宮2班)

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます。



# Snap スナップ Snap



周知活動①



周知活動②



女性の会



入会説明会



奉仕活動②



奉仕活動①

委員 西山 秀樹  
 委員 遠藤 洋人  
 委員 佐藤 ヒサイ  
 委員 渡辺 哲朗  
 委員 平栗 好子

\* 広報委員会 \*



## 編集後記

平成と云う年号も今年限り。本年の締めくくりと新年の幕開けを前に会報二十号の打ち合わせ作業も終えて推敲、手直し、論議を重ね、ようやく発行の運びとなり正直ほっとしています。

やがて明ける新年が会員の皆様に良き年となりますように心から祈念いたします。

(遠藤 記)